

市長への提言 令和2年7月末日現在					
件名	要旨	市の考え方	受付日	回答日	担当部署
枚方市からきた郵便物について	枚方市からの郵便物について、前は返信用封筒に切手を貼らなくてよかったのに、最近は切手を貼って送らないといけない。毎度負担しないといけないでしょうか。課によって対応が変わるのでしょうか。	市役所では、多岐にわたる様々な事業を行っていることから、事業によって取り扱いが異なる場合もございますが、おおむね次のとおりとなっております。 ①市が郵送料を負担するもの *必ず提出しなければならないもの、市からお願いするもの。 *窓口の混雑緩和などのため郵送での提出を促しているもの。 *市役所が手違いにより再度提出をお願いするもの。 ②ご本人が郵送料をご負担いただくもの *ご本人の申請により受給可能なもの。	2020/6/1	2020/7/3	企画政策課
医療費について	枚方市では子どもの医療費の助成が中学生までとなっています。近隣市では高校生までのところもあり、市が違うだけで、多く医療費を払わないといけないのは少し不公平に感じるため、高校生まで医療費を助成していただきたいです。	近年、少子化や人口減少を背景に、本市も含めて多くの市で子育て分野に重点をおいて事業を行っており、子育て分野の中でもどこに重点を置くかは市により異なります。枚方市では、令和2年4月から第2子以降の保育所等の保育料を無償化したり、医療費では、中学生まで子どもの数に関わりなく1世帯当たり2,500円を上限としています。高校生のいる世帯の医療費負担につきましては近隣市よりも大きくなるかもしれませんが、中学生までの医療費の負担については、世帯により、近隣市よりも小さくなっています。 今後も民間事業者との連携や、新しい技術の活用で行政改革を進め、財源を確保し、ご提案をいただいた制度も含め、様々な子育て支援策を展開し、子育てのしやすい、住み心地のよいまちを目指していきます。	2020/6/4	2020/7/27	医療助成課
高齢者バス代について	高齢者のバスカードはなぜ無くなったのでしょうか。バス代を気にして外出も出来ません。	外出支援カードにつきましては、バス事業者が磁気カードの取り扱いを終了することとなったため、これまでと同様の取り組みを継続できなくなったことから、平成28年度をもってカード配布を終了いたしました。カード配布終了後も、平成29年度・30年度の2年間に限り、交通系ICカードのチャージ助成にも取り組みましたが、その後、交通環境などの地域事情や経済状況に左右されることなく、高齢者が外出する機会を増やすための後押しとなる仕組みを構築すべく、65歳以上の方が介護予防のイベントや各種講座等への参加にポイントを付与する「高齢者お出かけ推進手帳」の配付を令和元年度にスタートしました。 貯まったポイントは「ひらかたポイント」に交換でき、これをさらに京阪バス運賃として利用可能なポイントに交換できます。令和2年度からは、「高齢者お出かけ推進手帳」に貯まったポイントをタクシークーポンにも交換できるようになりました。新たな「高齢者お出かけ推進事業」を通じて、今後も高齢者の皆様が安心して外出できるまちづくりを進めてまいります。	2020/7/13	2020/7/29	長寿・介護保険担当